

東側／産業道路方面

造幣局さいたま支局

令和8年

桜のさんぽ道

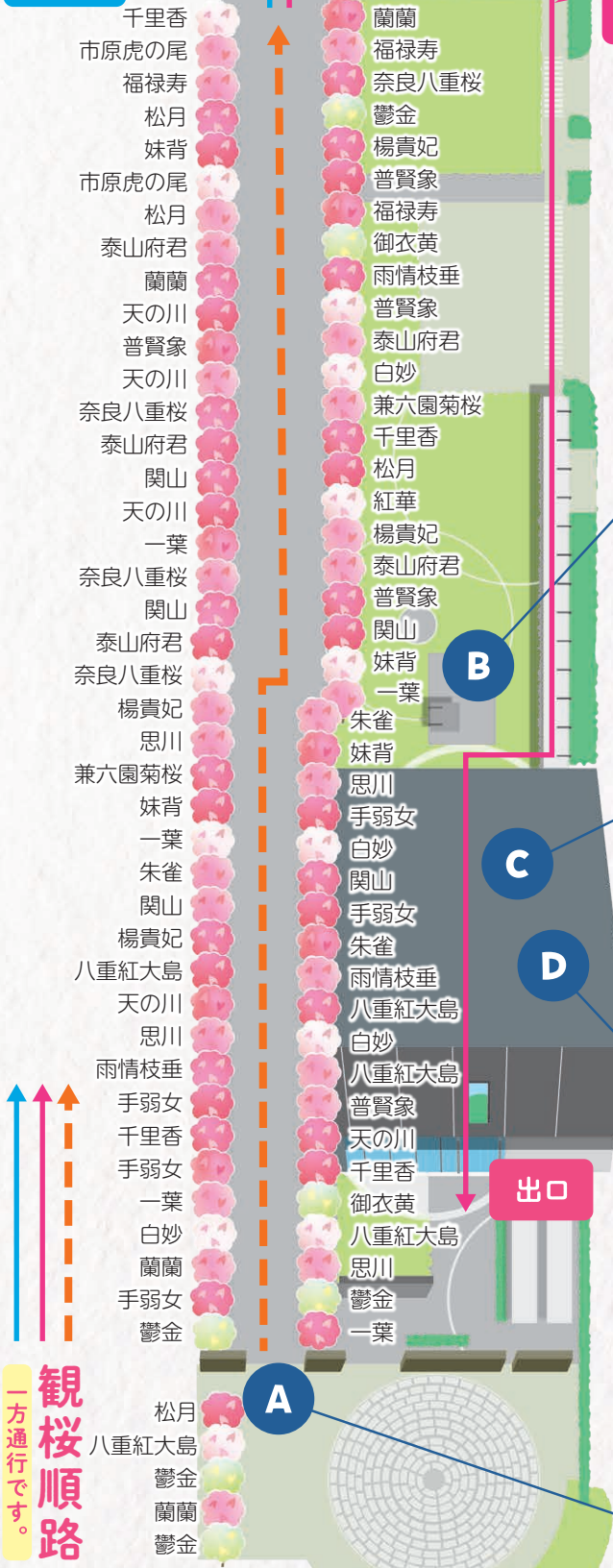
4/6月 - 4/19日

9:00-19:30

さくらマップ

博物館見学は
こちらへ
入館/16時まで

退場口



一方通行です。
観桜順路

西側／さいたま新都心駅方面

B コロンビア型圧印機

旧東京支局(東京都豊島区)に設置されていた圧印機(貨幣の模様を付ける機械)を展示しています。

記念撮影に
どうぞ!



C 造幣さいたま博物館 工場見学も!

博物館では、これまでに発行された記念貨幣や、勲章、オリンピック入賞メダル、古銭などを展示しています。工場も自由に見学できますので、ぜひお立ち寄りください。

※4/13(月)・4/18(土)・4/19(日)は
工場見学ができません。



D おみやげは ミントショップへ!

観桜記念のおみやげは、館内ミントショップでどうぞ。桜のさんぽ道を記念した貨幣セットも販売中!



A 入場口はこちら! 博物館入口もこちらです。

桜のさんぽ道、スタートはこちらから! 26種類、計107本の桜をお楽しみください。 ※一方通行になりますので、お気を付けてください。



桜の道

桜樹一覽表

合計 26品種 107本

あ

あまのがわ
天の川

本数:5本



東京荒川堤にあった里桜で、樹姿がほうき状となり、淡紅色の花が上向きに咲く珍しい品種です。花弁数は10~20枚です。

い

いちほらとらのお
市原虎の尾

本数:3本



京都洛北市原にあった桜で、その咲く有様は、虎の尾のようで、花は淡紅白色、花弁数は30~40枚です。

い

いちよう
一葉

本数:5本



東京荒川堤にあった里桜で、花芯から1本の葉化した雌しべがあるのでこの名があります。花は淡紅色で、花弁数は25枚程あり満開時には白味がかります。

い

いもせ
妹背

本数:4本



花は濃淡になった紅色で、時に一つの花に実が二つ、対になってつくことから、この名が付けられました。花弁数は30枚程あり、二段咲きが見られます。

う

うこん
鬱金

本数:6本



古くから知られた桜で、江戸時代に京都知恩院に植えられていたといわれ、樹姿は直立高木で、花は淡黄緑色のショウガ科のうこんの根の色に似ていることから、この名が付けられました。花弁数は10~15枚です。

う

うじょうしだれ
雨情枝垂

本数:4本



詩人の野口雨情氏の邸内(現在の宇都宮市鶴田町)にあったことから、この名が付けられました。花は淡紅色で、花弁数は20~26枚です。

お

おおしまざくら
大島桜

本数:1本



伊豆七島などに自生する桜で、花は大きく一重の白色で芳香があります。潮風煙害に強い品種です。

お

おもいがわ
思川

本数:4本



栃木県小山市の修道院にあった十月桜の種から育成された桜です。修道院の下を流れる川の名にちなんで、この名が付けられました。花は淡紅紫色で、花弁数は6~10枚です。

か

かんざん
関山

本数:5本



明治初年東京荒川堤の桜として有名になった桜で、花は濃紅大輪で、花弁数は30枚程です。

き

ぎょいこう
御衣黄

本数:5本



花は黄緑色で、開花が進むにつれて花弁の中心に紅色の縦線が現れる大変珍しい品種で、花弁数は15枚程度です。

け

けんろくえんきくざくら
兼六園菊桜

本数:2本



金沢兼六園にある有名な桜で、花弁数は多いもので300~350枚あり、日本で花弁数の最も多い珍しい桜です。原木は天然記念物に指定されていました。花は淡紅白色です。

こ

こうか
紅華

本数:2本



北海道松前町の桜研究家 浅利政俊氏が実生の中から選出した桜で、濃紅色の花が密生して咲き、咲き方が華やかであるところから、この名が付けられたといわれています。花弁数は30~40枚です。

こ

こでまり
小手毬

本数:1本



多数の花が枝の先に密生して咲き、花は小さい手毬の状態となるところから、この名が付けられました。花は中輪の淡紅色です。

し

しゅじゃく
朱雀

本数:3本



昔、京都朱雀にあった有名な桜で、直径約4cm、花弁数は10枚程あり、花は淡紅色で、外弁はやや濃紅、やや垂れ下がって咲きます。

し

しょうげつ
松月

本数:6本



東京荒川堤にあった名桜で、平野神社の平野撫子に似ています。花は最初淡紅色で、次第に白色となり、花弁数は25枚程で、葉化雌しべがあります。

し

しろたえ
白妙

本数:4本



東京荒川堤に移植された大島桜系の里桜の一種で、花は白色の大輪で、花弁数は10~15枚です。

せ

せんりこう
千里香

本数:4本



東京荒川堤にあった桜で、芳香があるためこの名が付けられました。花は大輪白色です。

そ

そめいよしの
染井吉野

本数:1本



江戸末期、駒込染井村の植木屋が初めて出した品種と伝えられ、育成が早く接木が簡単なので、急速に日本各地に伝わりました。

た

たいざんふくん
泰山府君

本数:5本



東京荒川堤にあった桜で、花が散るのを惜しんで泰山府君(中国の泰山の神)を祭り、花の命を長らえたという故事から、この名が付けられました。

た

たおやめ
手弱女

本数:5本



京都平野神社境内にある桜で、花は淡紅色で中輪です。花弁数は15~20枚で、内に抱えるような形となり美しい桜です。

な

ならやえざくら
奈良八重桜

本数:6本



日本で最も古くからある八重桜で、昔より歌にも詠まれている有名な桜です。花は淡紅色で、開花が進むにつれ白色となり、花弁数は20~50枚です。

ふ

ふくろくじゅ
福祿寿

本数:6本



東京荒川堤にあった大島桜系の里桜で、花は淡紅色で、花弁は波打つようなしわがあり、かたい感じがあります。花弁数は15~20枚あり、大輪として代表的なものです。

ふ

ふげんぞう
普賢象

本数:6本



室町時代から京都地方にある有名な桜で、花の中から葉化した二つの雌しべが突き出し、その先端が屈曲します。その状態が、普賢菩薩の乗る象の鼻に似ているので、この名が付けられました。花は淡紅色で、開花が進むにつれ白色となり、花弁数は20~40枚です。

や

やえべにおおしま
八重紅大島

本数:5本



花は淡紅色の八重咲き、大島桜系の一品種で、花弁数は26~35枚、少し香りがあります。

よ

ようきひ
楊貴妃

本数:4本



昔、奈良地方にあった桜で、つぼみは紅色ですが、開花時には淡紅色となり、花色も優れ豊満なので、中国の楊貴妃を連想して世人が名付けました。花弁数は20枚程です。

ら

らんらん
蘭蘭

本数:5本



北海道松前町で、「白蘭」と「雨宿」との交配から選出育成された桜です。北海道松前の子供達が上野動物園のパンダ「蘭蘭」の死を悼んだこと、花が密集して咲き、その付き方がふくよかでパンダの毛並みに似ていることからこの名が付けられました。花は白色に近く、花弁数は15~20枚です。

